

日 教 振 2 1 9 号
平成 2 4 年 1 2 月 2 8 日

各日本語教育機関設置代表者 殿

財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐 藤 次 郎
(公印省略)

平成 2 4 年度生活指導担当者研修の実施について（通知）

当協会の運営につきましては、日ごろから御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当協会では、生活指導担当者の能力向上を図るため、平成 14 年度から研修を実施しております。

つきましては、今年度におきましても下記により実施しますので、貴日本語教育機関の生活指導担当者（事務職兼務者、教務兼務者を含む。）で参加希望者がいる場合は、当協会ホームページに掲載の別紙様式 1「推薦書」により、平成 2 5 年 1 月 2 1 日（月）までに E メールで総務部あて御推薦くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成 2 5 年 2 月 1 9 日（火） 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0
（懇親ネットワーク会： 1 7 : 4 5 ~ 1 9 : 3 0）
2 月 2 0 日（水） 9 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0

- 2 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 1 1 号室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 - 1
TEL 0 3 - 3 4 6 7 - 7 2 0 1

3 定員及び参加要件等

定員は 8 0 名程度とし、参加者は次の要件を満たす必要があります。

①日本語教育機関及び大学等教育機関の現場において実際に留学生の生活指導に携わっていること。

②経験年数は問わないが、ある程度の実務知識があることが望ましいこと。

推薦は、1 校につき 2 名までとします。

4 参加費

宿泊（シングル利用）： 1 7, 6 0 0 円

宿泊を利用しない場合： 1 4, 6 0 0 円

（1 日目懇親会費・2 日目昼食・資料代を含む。）

○非維持会員校・会費未納校からの参加者の参加費は、宿泊（シングル利用）の場合 2 0, 9 0 0 円、宿泊を利用しない場合 1 7, 9 0 0 円とします。

5 宿泊

宿泊先としては「国立オリンピック記念青少年総合センターD棟」に日振協名で、あらかじめ確保しておりますので、御希望の方は、別紙様式「推薦書」に御記入ください（遠距離及び先着を優先）。

キャンセルの場合は、3日前までに協会総務部まで御連絡ください。

また、返金が生じた場合の手数料は、各自御負担願います。

6 日程

別紙（当協会ホームページ掲載）のとおり

7 受講証明書

全期間参加者にのみ、受講証明書を発行します。

8 参加者の決定等

参加者については、後日通知します。

なお、参加費については、別途お知らせする所定の口座に振り込んでいただくよう併せて連絡します。

【お問い合わせ先】

総務部： 小野寺陽子・上戸

TEL： 03-5304-7815

FAX： 03-5304-7813

Eメール： y-onodera@nisshinkyo.org

URL： <http://www.nisshinkyo.org/>

平成24年度生活指導担当者研修日程

開催日：平成25年2月19日（火）～20日（水）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟311号室

司会・進行：生活指導担当者研修専門委員会

【1日目：2月19日（火）】

時 間	研 修 内 容	研修室
12:30～12:50	受付	センター棟 311
13:00～13:30(30)	開会挨拶 理事長 佐藤次郎	
13:30～14:00(30)	オリエンテーション 委員長 田中真一（大阪 YMCA 学院）	
14:00～15:30(90) ※上記時間に質疑応答も含む	特別講演 「日本語教育機関をめぐる最近の出入国管理の状況」 講師：法務省入国管理局担当官 質疑応答	
15:30～15:45(15)	休 憩	
15:45～17:30(105)	セッションⅠ ※1 「教務・事務・生活指導の関係性 ～学生支援システムの再構築～」	センター棟 311
17:45～19:30(105)	懇親ネットワーク会	カルチャー棟 レストランとき

【2日目：2月20日（水）】

9:30～12:30(180)	セッションⅡ ※2 「いま、求められる生活指導者とは？」	センター棟 311
12:30～13:30(60)	昼 食	センター棟 レストランふじ
13:30～15:00(90)	全体会 各グループの報告と質疑応答	センター棟 311
15:00	閉 会	

○日程は、変更になる場合があります。

○なお、※1, 2については、裏面「平成24年度生活指導担当者研修のねらい」参照

平成24年度生活指導担当者研修のねらい

全体のねらい「いま、生活指導担当者にもとめられていること…」

リーマンショック以降の長引く円高や2011年の大震災・原発事故、2012年度は東アジア諸国の経済発展による意識変化や領土をめぐる問題での国際情勢不安定化など、日本語学校を取り巻く環境が大きく変化しています。その結果、日本語学習者の目的が多様化し、日本留学そのものの魅力に加え、学生の態様も変化しています。

留学生の獲得競争が世界中でおこなわれているこの時代、日本留学の入口としての日本語学校の教育力向上、そしてその質をいかに保証するかを明確に示すことが求められるようになってきています。

生活指導担当者は、学生が信頼して学ぶことのできる日本語学校づくりのキーパーソンです。その職務を生活管理→生活指導→生活支援→留学生活サービスと捉え、職務能力向上のための研修を実施します。

セッションⅠ「教務・事務・生活指導の関係性～学生支援システムの再構築～」

自分の学校また自らの職務を振り返り、どこが弱いのかを知り、これから学校の質をいかに高めていくかを考えます。生活指導担当者の職務は生活管理型→生活指導型→生活支援型と視点が変わり、現在では留学生の個別満足度を高める「サービス型」も視野に入れなければならなくなりました。これは学校全体で取り組むべき大事なことであり、そのため教職員間の情報の共有にとどまらず、留学生活全般の価値観の共有が必要になります。そのための人間関係構築やコミュニケーション方法について考え、日本語学校づくりのキーパーソンとしての生活指導担当者の立ち位置を定義していきます。

セッションⅡ 「いま、求められる生活指導担当者とは？」

ここ数年、日本語学習者の目的は進学だけでなく、就職、国際交流、趣味の探求など、多様になってきています。一方で円高の影響もあり、学生の経済的負担が増していることも事実です。

大きな投資をして日本留学をする学生に対して、満足していただく為に、生活指導担当者は何をすべきでしょうか？

今後ますます日本語学校の質が問われる中、学校の評価を上げる一番の近道は学生の「満足度」を上げること。これができれば、直接的・間接的に学校の評価を上げることにもつながり、学生募集にも寄与できるのではないかと考えます。

グループセッションⅡでは、前日のセッションⅠの内容を受けてグループ討議を行い、いま、何が求められているのか、具体的に話し合います。

平成24年度生活指導担当者研修参加推薦書

平成 年 月 日

財団法人日本語教育振興協会理事長 宛て

当初認定番号		代表者名	
機関名			

標記の研修に下記の者を参加させたいので、推薦します。

記

1.参加希望者

推薦順位	1				2			
ふりがな								
氏 名								
年齢 (H25.1.1現在)		歳	☐ 男 ☐ 女		歳	☐ 男 ☐ 女		
主たる業務	☐ 生活指導 ☐ 事務 ☐ 教務				☐ 生活指導 ☐ 事務 ☐ 教務			
生活指導担当者としての経験年数		年		月		年		月
事務職員としての経験年数		年		月		年		月
教務職員としての経験年数		年		月		年		月
※生活指導担当者としての通算経験年数(H25.1.1現在)		年		月		年		月
宿泊について	☐ 希望する ☐ 希望しない				☐ 希望する ☐ 希望しない			

※(1)複数の職場に生活指導担当者として、勤務実態のある場合の通算年数とする。

※(2)経験年数に関しては、未経験の場合、「0」を記入すること。

2.特別講演「日本語教育機関をめぐる最近の出入国管理の状況」に関連する内容で質問事項等がありましたら、お書き下さい。

質問事項	
質問内容	

連絡担当者	TEL	
	氏名	

平成25年1月21日までに総務部(Eメール y-onodera@nisshinkyo.org)宛て送付願います。